

令和4年

第46回特別展

10月8日 土

~11月20日 日

開館時間 9時~16時30分

休館日 月曜日(10月10日・11月14日は開館)、
10月11日(火)、11月4日(金)

入館
無料



水野忠邦御肖像
(東京都立大学図書館所蔵)を改変

見た改革

残る史料から

さいたまに

天保の時代と

その世相



源頼光公館土蜘蛛作妖怪図(天保の改革の風刺)
(東京都立中央図書館所蔵)

さいたま市立博物館

さいたま市大宮区高鼻町 2-1-2 TEL 048-644-2322 FAX 048-644-2313



さいたま市立博物館ウェブサイト
<https://www.city.saitama.jp/004/005/004/005/008/index.html>



さいたま市の博物館 Twitter
<https://twitter.com/SaitamaMuseum>



※新型コロナウイルス感染症対策を行っております。なお、新型コロナウイルス感染症の状況により、展示期間、講座等が変更となる場合があります。詳しくはウェブサイトをご覧ください。

■大宮駅東口から徒歩15分
■駐車場が狭いので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

天保の時代とその世相

さいたまに残る史料から見た改革

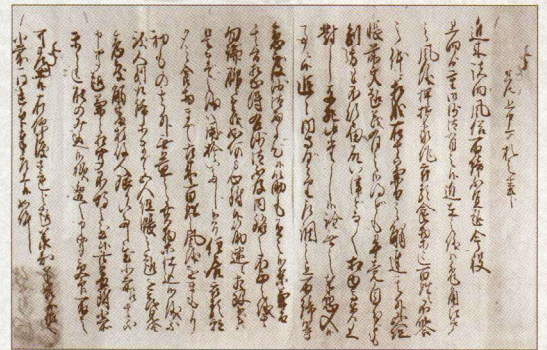
今回のテーマである天保の時代(1830~1844)は、貨幣経済の庶民への浸透による生活環境の変化や、数年にわたる飢饉など、様々な要因による社会経済情勢の変動が大きかった時代で、いわゆる「天保の改革」によって、江戸幕府がその立て直しを図ろうとした時期になります。

「天保の改革」は、中学校や高等学校の教科書で取り上げられる出来事であり、さいたま市にも多くの関連史料が残された、身近な歴史的出来事です。

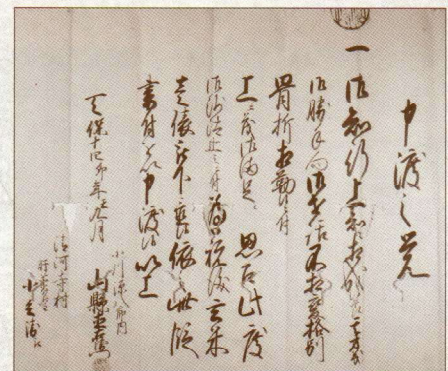
幕末へと向かう社会変動が大きい時代に生きた、身近な地域の人々の足跡を知ることで、当時の世相がどのようなものであったかを理解し、同様に変化の大きい現代にある私たちの生きる手がかりとなれば幸いです。



大俵約めしめしたきやう (儉約令関連資料)
(東京都立中央図書館所蔵)



差上申一札之事 (風俗取締り関連資料)
(個人蔵・当館寄託/さいたま市指定有形文化財)



申渡の覚 (上知令関連資料)
(個人蔵・当館寄託/さいたま市指定有形文化財)

- 展示構成
- 【序章】なぜ改革が必要となったか
～天保の時代の地域の様相～
 - 【第1章】奢侈の取り締まり
～儉約令と風紀統制～
 - 【第2章】幕領の立て直し
～人返し令と上知令～
 - 【第3章】将軍権威の強化
～将軍・徳川家慶の日光社参～
 - 【終章】天保の改革が何をもたらしたか
～改革後の世相～

特別展関連イベント

関連講座

①「天保十四年の日光社参」

講師/椿田 有希子氏 (国際基督教大学 助教)
日時/10月23日(日) 13時30分~15時30分

②「天保期の関東取締出役と地域」

講師/桜井 昭男氏 (淑徳大学 アーカイブズ主任専門員)
日時/11月13日(日) 13時30分~15時30分

申込/①10月6日(木)、②10月25日(火) いずれも9時から電話でさいたま市立博物館へお申込みください。(先着順)
定員/各30名 費用/無料 会場/さいたま市立博物館 1階講座室

学芸員による展示解説

日時/10月8日(土) 11時~14時~、11月3日(木・祝) 11時~14時~、11月20日(日) 11時~14時~
所要時間/各30分程度 費用/無料 申込/不要

さいたま市立博物館 さいたま市大宮区高鼻町 2-1-2 TEL 048-644-2322 FAX 048-644-2313

※新型コロナウイルス感染症対策を行っております。なお、新型コロナウイルス感染症の状況により、展示期間、講座等が変更となる場合があります。詳しくはウェブサイトをご覧ください。

このチラシは8,000枚作成し、1枚当たりのコストは17円です。